

● 演習ワークシート

事例 1

症例：70 歳，男性

長年解体業に従事していた。

数年前から咳嗽があり数か月前から右背部に胸痛を自覚している。生活動作に支障はない。

胸部 CT 撮影で胸膜腫瘍が認められ，胸腔鏡下腫瘍切除術（場合により開胸術へ移行）が予定された。麻酔科医師から麻酔導入後に手順書に従った左橈骨動脈への動脈ライン設置が指示された。

OSCE 使命 1

この事例について，手順書に沿ったうえで動脈穿刺についてのプランを立て，動脈穿刺を実践してください。なお，以下の項目について具体的に検討し実施すること。

- 特定行為対象となる根拠について
- 診療補助を行わせる病状の範囲について

● 演習ワークシート

事例 2

症例：95 歳，女性

自宅で転倒し，右大腿部外側に強い痛みと腫脹を発症したため救急車で来院した。

血圧	心拍数	呼吸数	SpO ₂
60/40mmHg	140 回/分	25 回/分	89%

四肢末梢は蒼白に近いチアノーゼで冷汗がみられる。

付き添いの家族によると認知症，骨粗しょう症，高血圧，狭心症と診断されており，5 年前に心臓カテーテル治療を受けたあと，“血液がサラサラになる薬”を内服していたという。

別の患者に対応している救急当直医師から可能なら集中治療室に入室させ動脈ラインを確保するよう指示された。

OSCE 使命 2

この事例について，手順書に沿ったうえで動脈穿刺についてのプランを立ててください。

なお，以下の項目について具体的に検討し実施すること。

- 特定行為対象となる根拠について
- 診療補助を行わせる病状の範囲について